

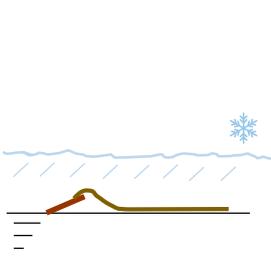


背景・目的

市内農協が新規作物として検討している‘シャインマスカット’について、寒冷地である当地での栽培適性を確認するため、昨年定植した樹における越冬の可否を確認するとともに、植栽2年目の栽培管理について検証しました。

結果

R3.10月～R4.3月



積雪前の主枝(R3.12.8)

<R3 栽培履歴>

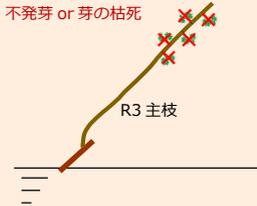
- 5/11…定植
- 8/20…摘心
- 10/26…天井ビニール撤去
- 12/6…冬季剪定
- 12/7…枝下ろし

40mハウス



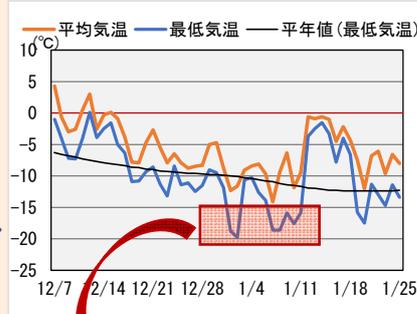
<圃場図>

R4.4月～R4.6月



主枝の芽枯れ(6/9)

5月中旬から発芽の兆候が見られたが、その後は全ての樹で不発芽や発芽後の枯死が散見
→**枯死率 80%以上**



<越冬期間中の気温の推移>

-20°Cを記録した1月2日の圃場の積雪深は約**40 cm**(実測)
(樹の上の雪は更に少ないと推測)

積雪量が少なかったことによる**凍害**が原因と判断

旭川市のような寒冷地は、**防寒対策が必要不可欠!**

R4.7月～R4.9月



新たな主枝が勢いよく伸長(9/13)

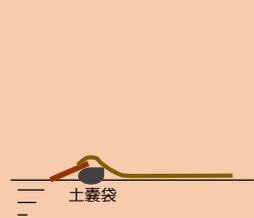


<主枝長の推移>

～植栽2年目の管理～

強樹勢になりすぎないように、養分バランスを整え、栄養成長に偏り過ぎない管理が理想
▶**適切な灌水管理と剪定管理の徹底**

R4.10月～R4.12月



落葉中(11/21)



枝下ろし(12/5)

折損防止のため根元に土嚢袋設置

ムシロによる防寒効果を検証
①～③ムシロあり
④～⑦ " なし

<R4 越冬準備>
9/28…天井ビニール撤去
12/5…冬季剪定
" …枝下ろし

結果の活かし方

旭川市内におけるシャインマスカット栽培の基礎資料として活用します。